

# 万一のとき

# 6

●発炎筒の使いかた	188
●路上で故障したときは	189
●けん引するときは	190
他車にけん引してもらうとき	190
自車でけん引するとき	193
●オーバーヒートしたときは	193
●バッテリーがあがったときは	194
●ヒューズを点検・交換するときは	196
●電球（バルブ）を交換するときは	198
●工具・ジャッキ・スペアタイヤについて	205
格納場所	205
スペアタイヤについて	206
ジャッキアップのしかた	207
●パンクしたときは	210
タイヤ交換のしかた	210
●事故がおきたときは	214

目次

△警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の  
使いかた車との上手な  
つきあいかた

万一のとき

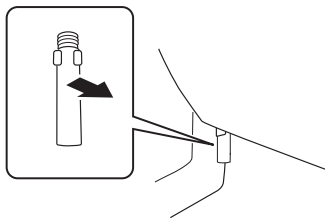
サービスデータ

さくいん

## 発炎筒の使いかた

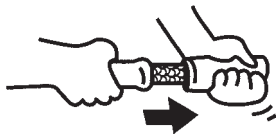
故障や事故などで緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

- ①助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。



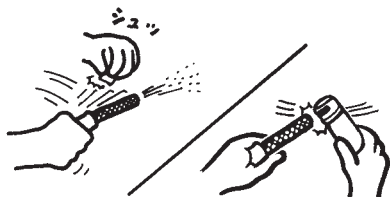
ESG1037Z

- ②本体を回しながらケースから引き抜きます。



TCA0158Z

- ③点火部をケースのすり薬でこすって点火します。



TCA0159Z

### 警告

- ・お子さまには触らせないでください。いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- ・可燃物の近くで使わないでください。引火する危険があります。
- ・点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけないでください。やけどをする危険があります。
- ・トンネル内では使わないでください。煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり事故をまねくおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。

### 知識

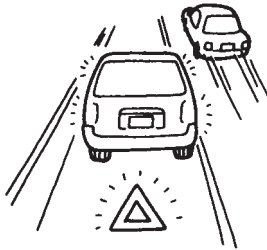
- ・点火後は約5分間燃え続けます。
- ・発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- ・発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

# 路上で故障したときは

必ず安全な場所に車を退避させ、非常点滅表示灯などで後続車に危険を知らせてください。  
安全な場所に退避できないときは、発炎筒（P.188）で後続車に危険を知らせてください。

## ■路上で故障したとき

- ①車を路肩などに止め、非常点滅表示灯を点滅させます。
- ②高速道路や自動車専用道路では、車の後方に停止表示板又は停止表示灯を置きます。

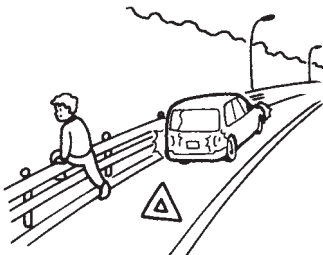


TCA0210Z

### 知識

・高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務づけられています。

- ③全員車から降り、ガードレールの外など安全な場所に、すみやかに避難してください。



TCA0211Z

- ④安全を確保後、救援を頼みます。

## ■エンストしたとき

- ①あわてずエンジンをかけ直してみます。
- ②エンジンがかからないときは、付近の人に救援を求めて、車を押してもらい、安全な場所に移動してください。このときセレクトレバーをNにしてください。



TCA0551Z

- ③安全な場所に移動後、救援を頼みます。

### 注意

・エンジンが止まると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。

## ■踏み切りで出られないとき

- ①ただちに踏み切りの非常ボタンを押してください。
- ②発炎筒で一刻も早く列車に知らせてください。



TCA0212Z

## けん引するときは

車が動かなかったり、異常な音がするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。

けん引が必要なときは、できるだけ日産販売会社、又は専門業者に依頼してください。

●JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

### 他車にけん引してもらおうとき

#### ⚠ 注意

- ・けん引してもらおうときは、イグニッションノブをLOCKにしないでください。ハンドルがロックされ操作ができなくなり危険です。
- ・エンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。
- ・長い下り坂では、ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。
- ・4WD車はけん引してもらおう場合、必ず駆動モード切り替えスイッチを2WD又はAUTOに切り替えてください。LOCKモードのままけん引すると、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。

#### ⚠ 注意

- ・4WD車はトレーラーに4輪車載するか、4輪接地の状態でけん引してもらってください。2輪を上げた状態でけん引すると、上げた車輪が回転して、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。
- ・VDC付車の前輪を上げてけん引するときは、イグニッションノブをONにしないでください。VDCが作動しブレーキがかかることがあります。
- ・イグニッションノブがLOCKの位置でバッテリーがあがると、ステアリングロックの解除ができなくなるため、このままの状態でけん引しないでください。けん引するときは救援車のバッテリーとつなぎ、イグニッションノブを回してステアリングロックを解除し、ハンドル操作ができる状態で行ってください。また、けん引中はイグニッションノブをLOCKの位置にしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。

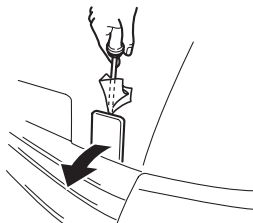
#### 🚗 アドバイス

- ・けん引してもらおうときは、速度30km/h以下、距離30km以内にしてください。高速走行や長距離走行をすると、トランスアクスルが破損することがあります。できるだけレッカー車、又はトレーラーを依頼してください。
- ・けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。

- ①4WD車は2WDに切り替えてください。

●ALL MODE 4×4…P.143

- ②カバーの溝にマイナスドライバーのような先の細いお手持ちの工具を差し込み、カバーを外します。



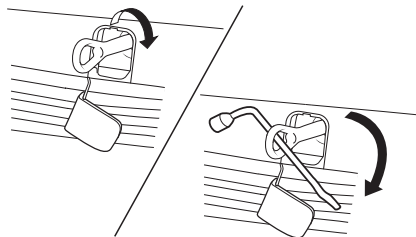
ESG0962Z

#### アドバイス

- ・工具に布などをあてながら外してください。車体に傷をつけるおそれがあります。

- ③けん引フックをホイールナットレンチを用いて確実に取り付けます。

●工具…P.205



ESG0970Z

- ④自車及び他車のけん引フックにロープを掛けます。

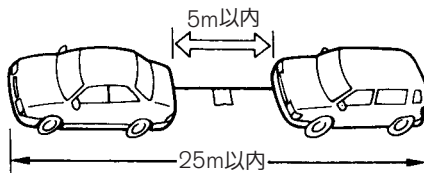
#### 注意

- ・指定以外のフックは絶対に使わないでください。フック部が破損するおそれがあります。

#### アドバイス

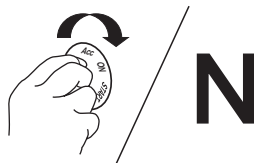
- ・ロープを掛けるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。

- ⑤ロープ中央に30cm×30cm以上の白い布を必ず取り付けます。



TSA2438Z

- ⑥エンジンをかけられるときはエンジンをかけ、セレクトレバーをNにします。

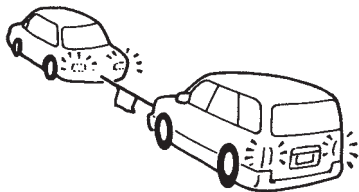


ECE0142Z

#### 注意

- ・エンジンをかけられないときは、イグニッションノブをAcc又はONにしてください。

- ⑦パーキングブレーキを解除します。  
 ⑧けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。



TCC0130Z

\*使い終わったら、けん引フックを取り付けた逆の手順で取り外します。

## 自車でけん引するとき

- ①前側に取り付けるときと同じ手順で、カバーを外しけん引フックを取り付けます。



ESG0963Z

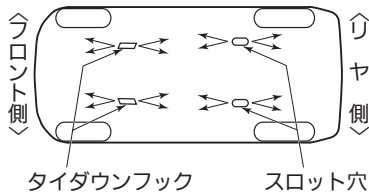
- ②けん引フックにロープを掛けます。

### ⚠ 注意

・指定以外のフックは絶対に使わないでください。また、自車より重い車のけん引は避けてください。フック部が破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。車両重量は自動車検査証で確認してください。

### 🚗 アドバイス

・トレーラーなどで輸送するときは、車両下側のスロット穴とタイダウンフックを使い固定してください。



タイダウンフック

スロット穴

ESF0289Z

・船舶輸送時は、フロントとリヤのけん引フックを使い固定してください。

# オーバーヒートしたときは

次のようなときは、オーバーヒートです。

- ＊水温計がオーバーヒートの範囲を示したとき。(P.82)
- ＊エンジンルームのすき間から蒸気が出ているとき。

## 警告

- ・エンジンルーム内は高温になっているため、エンジンフードを開けるときは十分に注意してください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- ・エンジンが十分に冷えていないときは、加圧式ラジエーターリザーバタンクのキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

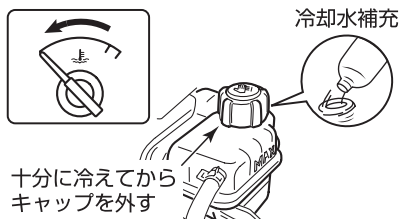
## 処置のしかた

- ①ただちに安全な場所に停車します。
- ②エンジンをかけたままエンジンフードを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。  
万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにエンジンを止め、自然冷却してください。

## 警告

- ・蒸気が出ているときは、エンジンフードを開けないでください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。エンジンを止め蒸気が出なくなるまで待ち、エンジンフードを開けてください。

- ③水温計がオーバーヒートの範囲より下がったら、エンジンを止めしばらく待ちます。  
エンジンが十分冷えてからホースなどからの水漏れを点検し、その後エンジンを始動してから、冷却水の量を点検してください。



十分に冷えてから  
キャップを外す

ZCE0518

- ④冷却水が不足しているときは、加圧式ラジエーターリザーバタンク (P.219) に冷却水 (P.217) を補充してください。

## アドバイス

- ・応急的に水だけを補充したときは、できるだけ早くエンジンクーラントを交換してください。

- ⑤走行中、再度水温計がオーバーヒートの範囲を示したときは、①～④の作業を繰り返し行ってください。
- ⑥早めに日産販売会社で点検を受けてください。

# バッテリーがあがったときは

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- \* スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからないとき。
- \* ライトがいつもより極端に暗いとき。
- \* ホーンの音が小さい、又は鳴らないとき。

## ■処置のしかた

12V（ボルト）バッテリー仕様の救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつなぎ始動してください。

- ① イグニッションノブをLOCKに戻します。
- ② ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

### 1本目

- ① 自車（あがった）バッテリーの⊕端子
- ② 救援車（正常な）バッテリーの⊕端子

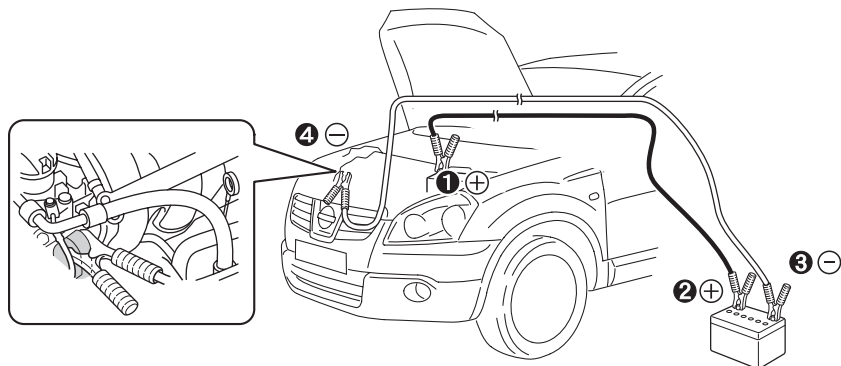
### 2本目

- ③ 救援車（正常な）バッテリーの⊖端子
- ④ 自車のエンジン本体（バッテリーから離れたステアなど）

## ⚠ 警告

- ・ ブースターケーブルをつなぐときは、以下のことを必ず守ってください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- \* ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
- \* ブースターケーブルを自車バッテリーの⊖端子に直接つながない。
- \* ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。

- ③ 救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。
  - ④ 自車のエンジンをかけます。
- ・ 必ずメカニカルキーでエンジンをかけてください。





- ・エンジンをかけるときは、ヘッドランプやエアコンなどはOFFにしてください。
- ・エンジンが始動しても、しばらくエアコンやオーディオを使わないでください。

 **アドバイス**

- ・スターターが回ってもエンジンが始動できない場合には、一旦イグニッションノブをAcc又は（OFF）に戻し、10秒以上待ってから再始動してください。

- ⑤ ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。
- ⑥ 早めに日産販売会社で点検を受けてください。

 **警告**

- ・バッテリーを充電するときは換気を十分行い、火気は近づけないでください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- ・バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受けてください。

 **注意**

- ・ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意してください。
- ・ブースターケーブルは、エンジン始動時の振動で外れたりしないように、確実につないでください。
- ・ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

 **アドバイス**

- ・押しがけでの始動はできません。
- ・バッテリーはお客さまの車に適合した日産純正部品をおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
- ・バッテリーがあがるとステアリングロックの解除が行えず、イグニッションノブを回せなくなります。すみやかにバッテリーを充電してください。

# ヒューズを点検・交換するときは

ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。

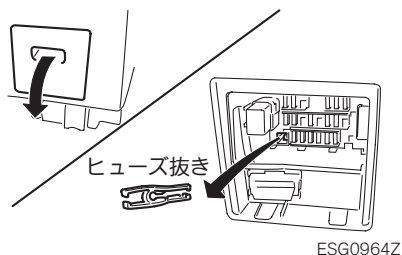
故障の状況から、関係するヒューズの位置を確認してください。

- この車には、スペアヒューズは付いていません。ヒューズについては、日産販売会社などでご購入ください。

## ■ヒューズボックスの位置

ヒューズボックスは運転席インストルメントパネル右下とエンジンルームにあります。

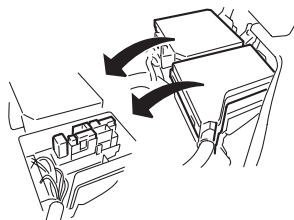
### 運転席足元



### エンジンルーム

エアダクト（外気導入側）の下にあります。

- エアダクトの外しかた…P.220

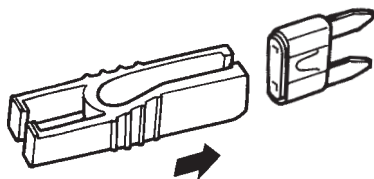


## ■ヒューズの位置

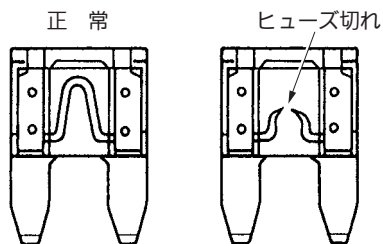
- ヒューズボックスのふたの裏側又は横に表示してあります。
- 車種により、付いていないヒューズがあります。

## ■ヒューズの交換のしかた

- ①イグニッションノブをLOCKにします。
- ②ヒューズボックスのふたを開けます。
- ③ヒューズ抜きをヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか確認します。



- ④ヒューズが切れているときは、同じ容量のヒューズと交換します。



 **警告**

- ・規定容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使わないでください。配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

 **アドバイス**

- ・交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- ・ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。

 **知識**

- ・エンジンルーム内のヒューズを交換するときは、日産販売会社にご相談ください。

目次

 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の  
使いかた車と  
あの手な  
あの手な万  
一  
の  
と  
きサー  
ビス  
デー  
タさ  
く  
い  
ん

## 電球（バルブ）を交換するときは

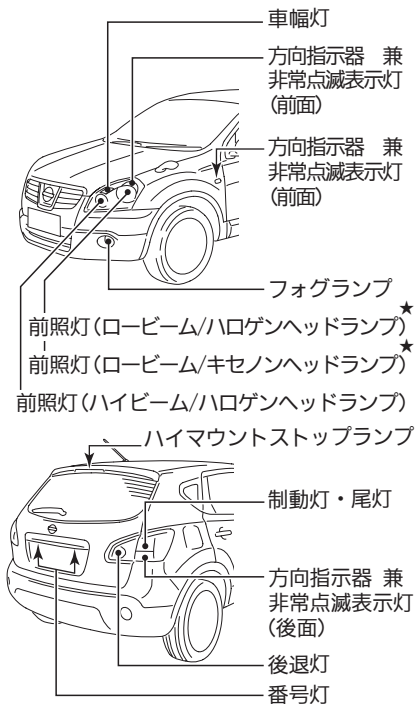
外装ランプが点灯しないときは、バルブ切れが考えられます。バルブを点検し、切れているときは交換してください。

- ・バルブの交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、日産販売会社にご相談ください。

- ・以下のバルブが点灯しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

- \* 前照灯（ロービーム/キセノンヘッドランプ）\*
- \* ハイマウントストップランプ

### ■外装ランプの位置



ZCE0315

### 警告

- ・キセノンヘッドランプは点灯時高電圧になります。感電防止のため、ランプの脱着、バルブの交換は絶対に行わないでください。

## ■バルブ交換のしかた

- ・交換をする前にバッテリーの⊖端子を外してください。
- ・指定された容量のバルブ（P.218）に交換してください。
- ・交換したあとは、点灯することを確認してください。  
点灯しない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

### 注意

- ・バルブの交換は、エンジンルームやバルブが冷えた状態で行ってください。やけどをするおそれがあります。
- ・バルブ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。
- ・ステアなどの端で指や腕をケガしないように十分注意してください。

### アドバイス

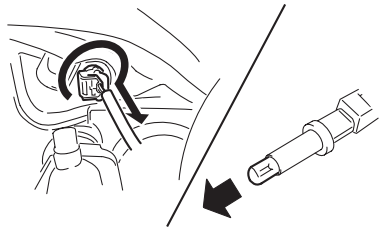
- ・外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。

### ハロゲンヘッドランプ

- ・ハロゲンバルブはバルブ内の圧力が高く、落としたりすると破損してガラスが飛び散ることがあります。取り扱いに十分に注意してください。また、素手でガラス部分に触れないでください。油などが付着すると寿命が短くなります。

### 車幅灯

- ①エンジンフード（P.47）を開けます。  
・助手席側のバルブを交換する場合は、エアダクトを外します。（P.220）
- ②ソケットを時計回りに回して引き抜き、バルブを引き抜いて交換します。

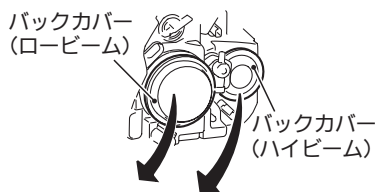


ESG1016Z

- ③取り外したときと逆の手順でソケットを取り付けます。

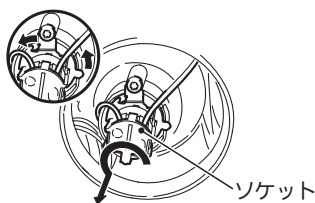
### 前照灯（ハロゲンヘッドランプ） ハイビーム/ロービーム

- ① エンジンフード（[P.47](#)）を開けます。  
・ 助手席側のバルブを交換する場合は、エアダクトを外します。（[P.220](#)）
- ② バックカバーを外します。



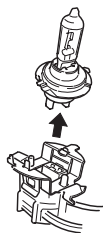
ESG1017Z

- ③ ソケットを反時計回りに回して引き抜きます。



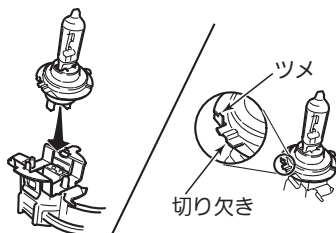
ESG1018Z

- ④ ソケットからバルブを引き抜きます。



ESH0211Z

- ⑤ ソケットのツメとバルブの切り欠きを合わせ、新しいバルブをソケットに取り付けます。



ESG1019Z

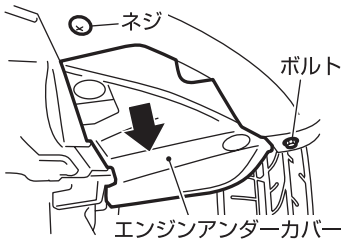
- ⑥ 取り外したときと逆の手順でソケットとバックカバーを取り付けます。

#### 🚗 アドバイス

- ・ バックカバーは確実ににはめ込まれていることを確認してください。ヘッドランプ内に水が入るおそれがあります。

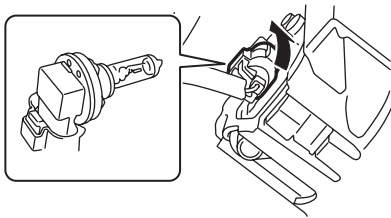
### フォグランプ

- ①お手持ちの工具でネジとボルトを外し、エンジンアンダーカバーを取り外します。



ZCE0324

- ②コネクターを外してからバルブを反時計回りに回して引き抜き、交換します。

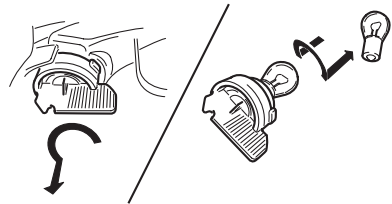


ZCE0059

- ③取り外したときと逆の手順で取り付けます。

### 方向指示器兼非常点滅表示灯（前面）

- ①エンジンフード（P.47）を開けます。  
 ・助手席側のバルブを交換する場合は、エアダクトを外します。（P.220）  
 ②ソケットを反時計回りに回して引き抜きます。  
 ③バルブを押し込みながら反時計回りに回して引き抜き、交換します。

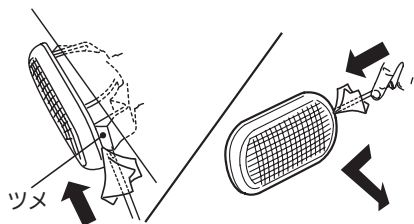


ESG1030Z

- ④取り外したときと逆の手順で取り付けます。

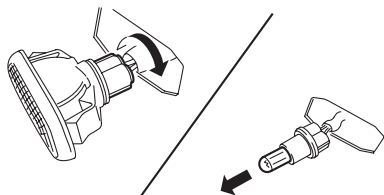
### 方向指示器兼非常点滅表示灯（側面）

- ①レンズを手で押しながら、レンズと車体の間にお手持ちの工具（マイナスドライバーなど）に布をあてて差し込みます。ツメを押してロックを解除し、レンズを手前に引き抜きます。



ESG1020Z

- ②ソケットを反時計回りに回して引き抜きます。ソケットがフェンダー内に落ちないようにテープなどで車体に貼り付け、バルブを交換します。

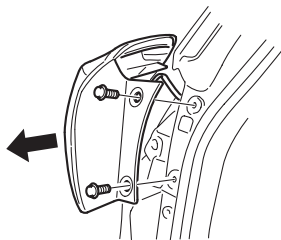


ESG1021Z

- ③ソケットを取り付けてレンズを片側から差し込み、押し込んで取り付けます。

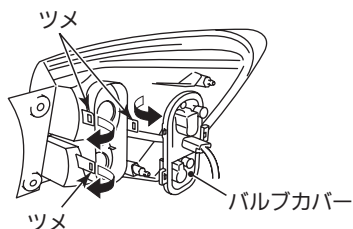
### 方向指示器兼非常点滅表示灯（後面）、制動灯／尾灯

- ①バックドア（P.42）を開けます。  
②ボルトをお手持ちの工具を使って外し、ランプ側面を車両後方に押し外します。



ESG1022Z

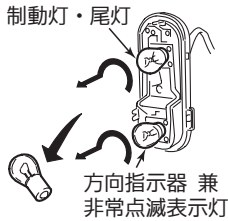
- ③ツメ（3箇所）を外側に押しつけてロックを外し、バルブカバーを外します。



ESG1023Z



- ④バルブを反時計回りに回して引き抜き、交換します。

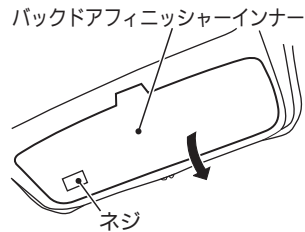


ESG1024Z

- ⑤取り外したときと逆の手順で取り付けます。バルブカバーは、“カチッ”と音がするまで確実にロックさせてください。

### 後退灯

- ①バックドアを開けます。  
②お手持ちの工具でネジを外し、バックドアフィニッシャーインナーとバックドアのすき間に手を入れて、バックドアフィニッシャーインナーを引いて外します。



ESG1025Z

- ③ソケットを反時計回りに回して引き抜きます。  
④バルブを反時計回りに回して引き抜き、交換します。

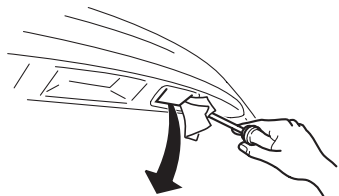


ESG1026Z

- ⑤取り外したときと逆の手順でソケットとバックドアフィニッシャーインナーを取り付けます。

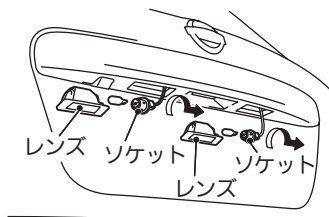
**番号灯**

- ①お手持ちの工具（マイナスドライバーなど）に布をあててレンズの右側に差し込み、レンズの片側を浮かせてから外します。



ESG1027Z

- ②ソケットを反時計回りに回してレンズから引き抜き、バルブを交換します。



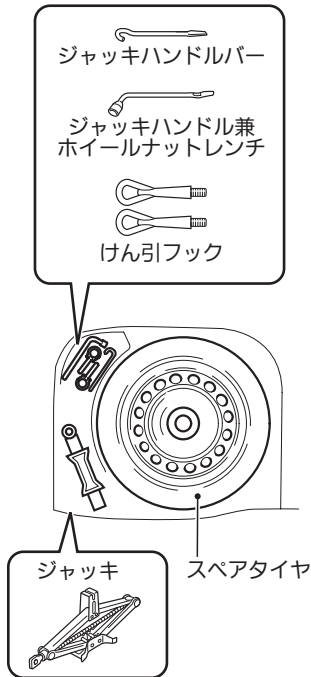
ESG1028Z

- ③取り外したときと逆の手順でソケットを取り付けます。  
④レンズの右側を差し込んでから左側を押し込み、取り付けます。

# 工具・ジャッキ・スペアタイヤについて

## 格納場所

- ・工具、ジャッキ、スペアタイヤは、ラゲッジルームに格納されています。



ESG0965Z

## ⚠ 注意

- ・工具、ジャッキ、スペアタイヤを使ったあとは、元の場所に格納してください。車内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 📖 知識

- ・停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- ・工具の種類やジャッキ、発炎筒（P.188）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。
- ・ジャッキはイラストのように輪の部分車両前方に向け、ジャッキの上下を逆にして格納してください。正しく格納しないと、しっかり固定されず走行中に振動するおそれがあります。

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の  
使いかた

つ車と  
あの上  
いか手  
な

万  
一  
の  
と  
き

サー  
ビス  
デー  
タ

さ  
く  
い  
ん

## スペアタイヤについて

スペアタイヤは応急用タイヤを搭載してあります。

タイヤがパンクしたときに、応急用として一時的に使うタイヤです。

### 注意

- ・スペアタイヤの空気圧はときどき点検してください。また、年に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。長期間放置すると空気圧が減り、万一のとき使用できないことがあります。

スペアタイヤの空気圧は420kPa (4.2kg/cm<sup>2</sup>) です。

- ・タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社にご相談ください。
- ・スペアタイヤを取り付けたときは、タイヤ接地部のたわみを確認してください。たわみが大きいときは空気圧が不足しています。すみやかに空気圧を調整してください。空気圧が不足したまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 注意

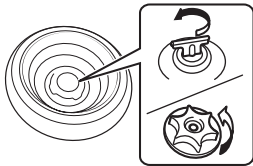
- ・間違った使いかたをすると、思わぬ事故につながるおそれがあります。次のことを守ってください。
- ・\*スペアタイヤ及びホイールはこの車専用です。他車のスペアタイヤを使ったり、他車に使わないでください。
- ・\*スペアタイヤに交換したときは、100km/h以下で走行してください。
- ・\*スペアタイヤには、タイヤチェーンは取り付けられません。
- ・\*雪道、凍結路で前輪がパンクしたときは、スペアタイヤを前輪に使わず、後輪に付け、外した後輪を前輪に取り付けてください。
- ・\*スペアタイヤに交換したときは、できるだけ早く標準タイヤに戻してください。

### アドバイス

- ・スペアタイヤに交換すると、車高が少し低くなります。地面の突起物などを乗り越えるときは、車体が接触しないように注意してください。

## ■スペアタイヤの取り出しかた

- ①ラゲッジルームのボードを取り外します。
- ②タイヤを固定しているクランプをゆるめてタイヤを取り出します。



ESH0367Z

- \* スペアタイヤを格納するときは、取り出したときと逆の手順で行ってください。

### 🐾 アドバイス

- ・スペアタイヤはクランプでしっかりと固定してください。ゆるんでいると、走行の妨げになります。

## ジャッキアップのしかた

### ⚠️ 警告

- ・ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らないでください。ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。
- ・ジャッキアップ中は、エンジンを始動しないでください。車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。

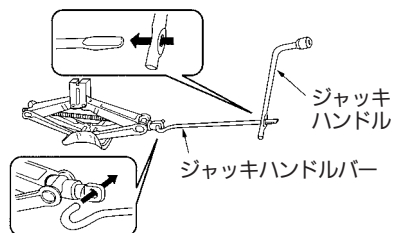
### ⚠️ 注意

- ・ジャッキを使うときは、次のことを必ず守ってください。
- \* ジャッキは必ず車載されたものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、車載されたジャッキは他車に使わないでください。
- \* ジャッキはタイヤ交換又はタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。
- \* 平坦で硬いところに駐車して作業してください。
- \* 使用前にパーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにしてください。
- \* 輪止めなどで車を固定してください。
- \* ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
- \* 人や荷物は必ず車から降ろしてください。

## ■ジャッキハンドルのセットのしかた

- ・ジャッキにジャッキハンドルバーとジャッキハンドルをセットします。

●格納場所…P.205



TCA0171Z

### 👉 アドバイス

- ・ジャッキハンドルバーは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込んでください。

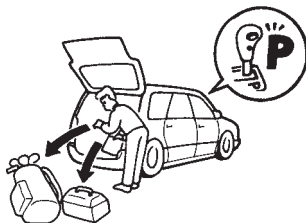
## ■ジャッキアップのしかた

交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。

### ⚠️ 注意

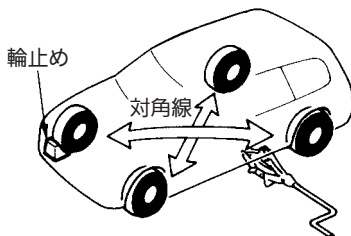
- ・やわらかい地面の上では行わないでください。ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。

- ①パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにし、エンジンを止めます。



TSB0311Z

- ②ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。
- ・輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。



TSA2453Z

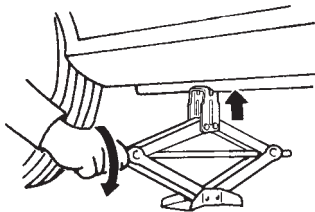
**注意**

- ・ やむを得ず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにしてください。

**知識**

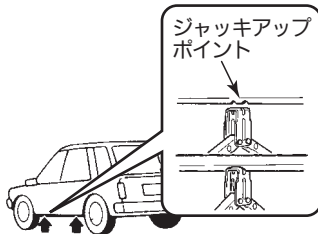
- ・ 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

- ③ ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイントの中央に入るまで上げます。



TSA5032Z

**ジャッキアップポイント**

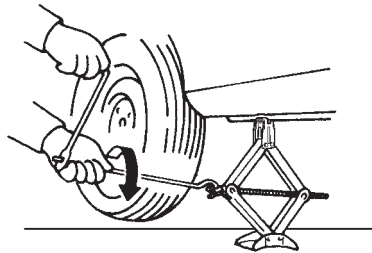


TSH0071Z

**アドバイス**

- ・ ジャッキアップポイント以外の所にはジャッキをかけないでください。車体に変形するおそれがあります。

- ④ ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



TSA5033Z

**注意**

- ・ ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

# パンクしたときは

## タイヤ交換のしかた

### ⚠ 注意

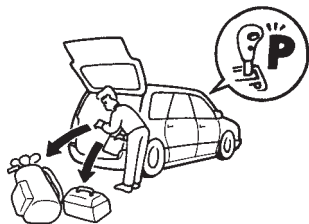
- ・タイヤ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。走行直後はホイールナットが熱いため、やけどやケガをするおそれがあります。

①交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車します。

- ・人や荷物を降ろします。
- ・必要に応じて、非常点滅表示灯を点滅させ、停止表示板（又は停止表示灯）を置きます。
- ・工具、ジャッキやスペアタイヤを取り出します。

🔍 ジャッキアップのしかた…P.207

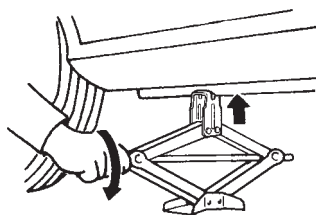
🔍 スペアタイヤの取り出ししかた…P.207



TSB0311Z

② ジャッキをセットします。

- ・ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイント（🔍 P.209）の中央に入るまで上げます。
- ・スペアタイヤをジャッキ近くの車体の下に置きます。

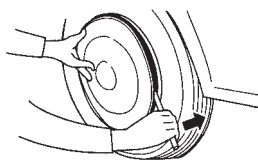


TSA5032Z

### 👉 アドバイス

- ・スペアタイヤを置くときは、ラベル貼付側を上にしてください。

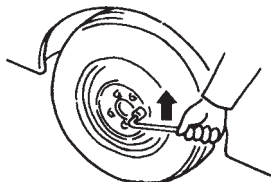
③フルホイールカバー付車は、工具に布などをあてて、ホイールカバーを傷つけないように外します。



TCC0070Z

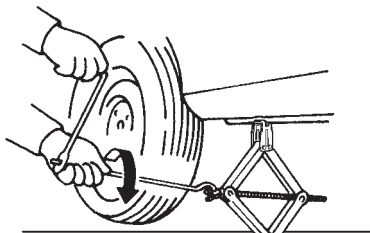


- ④ホイールナットレンチで、全てのナットを反時計回りに約1回転ゆるめます。



TCA0555Z

- ⑤ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまでジャッキアップします。

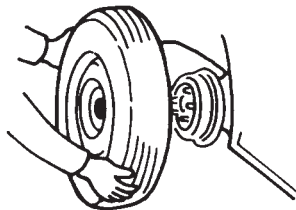


TSA5033Z

### 注意

- ・ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

- ⑥ナットを外し、パンクしたタイヤを外して車体の下に置きます。



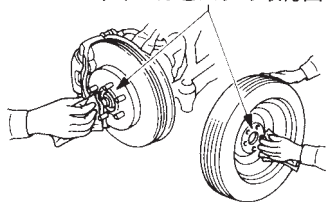
TSA1464Z

### アドバイス

- ・タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。

- ⑦ハブの取付面とホイール裏側の取付面を布でよくふき、スペアタイヤを取り付けます。

### ホイールとハブの取付面

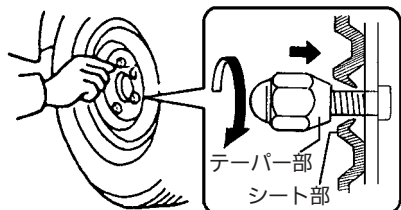


TCE0093Z

### 注意

- ・取付面が汚れていると、走行中にナットがゆるみタイヤが外れるおそれがあります。
- ・スペアタイヤは、ラベル貼付側が外側になるように取り付けてください。逆に付けると他の部品と当たり、思わぬ故障につながるおそれがあります。

- ⑧ナットのテーパ部が、ホイール穴のシート部に軽く当たるくらいまで、時計回りに回して締め付けます。

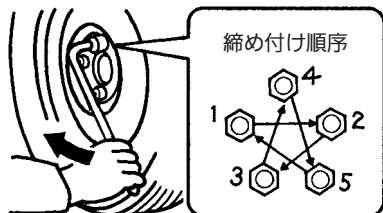


TSB0368Z

### ⚠ 警告

- ・ナットを取り付けるときは、ナットやボルトにオイルやグリスなどを塗らないでください。走行中にナットがゆるみ、タイヤが外れるおそれがあります。

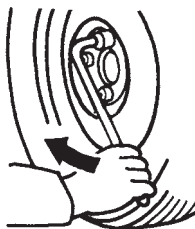
- ⑨ナットを、図の順序で2～3回に分けて締め付けます。



TCA0556Z

- ⑩ジャッキを下げます。  
さらにナットを⑨の締め付け順序で十分に締め付けます。

\*ホイールナット締め付けトルク  
108N・m (11kg・m)



TCA0181Z

### ⚠ 注意

- ・ジャッキを下げるときは、ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを両手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

### 👉 アドバイス

- ・ホイールナットレンチを足で踏んで回したり、パイプなどを使って必要以上に締め付けしないでください。ボルトが折れるおそれがあります。

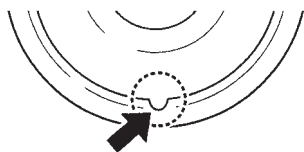
- ①パンクしたタイヤや使用した工具、ジャッキなどをラゲッジルームに格納します。

### 注意

- ・タイヤを取り付けてしばらく走行したあと、ナットのゆるみや車体の振動などの異常がないか確認してください。

### アドバイス

- ・応急用タイヤには、ホイールカバーは取り付けられません。
- ・応急用タイヤは、すぐに標準タイヤに戻してください。
- ・パンクしたタイヤをスペアタイヤ格納部に入れると、クランプは取り付けられません。また、ラゲッジルームのボードが持ち上がった状態となります。
- ・標準タイヤにホイールカバーを取り付けるときは、エアバルブの位置を合わせてください。



TCA0480Z

# 事故がおきたときは

あわてずに次の処置をしてください。

## 1 続発事故の防止

他の交通の妨げにならないような安全な場所に車を移動させ、エンジンを止めます。

## 2 負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師・救急車が到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

## 3 警察への届け出

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを連絡します。

## 4 相手方の確認とメモ

相手方の氏名、住所、電話番号などを確認してメモします。  
同時に事故状況もメモしておいてください。

## 5 販売会社と保険会社への連絡

ご購入された販売会社と加入の保険会社へ連絡をします。